

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2017/12/29	2018/10/31	2018/11/22	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	22,764.94	21,920.46	21,646.55	24,448.07	2018/10/2	14,864.01	2016/6/24
NYダウ	ドル	24,719.22	25,115.76	0.00	26,951.81	2018/10/3	15,450.56	2016/1/20
円/ドル	円	112.69	112.94	112.95	123.67	2015/12/2	99.02	2016/6/24

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～ 景気減速やハイテク企業の業績懸念が株価下落要因となるも、
週後半には押し目買いが入り、概ね横ばい ～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が▲33,79円(▲0.16%)、TOPIXが▲0.34ポイント(▲0.02%)となり、世界景気の減速や米ハイテク企業の業績鈍化への懸念が株価下落要因となる一方、週後半には押し目買いや3連休を控えた株価指数先物の売り持ち高の買戻しなどが入り、概ね横ばいとなりました。業種別(東証33業種)でみると、鉱業、石油・石炭製品、証券・商品先物取引、銀行業などの21業種が下落する一方、食料品、陸運業など12業種が上昇しました。週明けの19日は、先々週末のトランプ大統領の発言を受けて米中間の貿易交渉の進展に対する期待から上昇して始まりましたが、翌20日は、前日の米国株市場で業績懸念からアップルなどハイテク企業の株価が急落したことや、景気減速懸念を背景にアジア株が軒並み下落したことを受け下落しました。21日は、前日の米国株や原油価格の下落が嫌気され続落しました。22日は、小売業や建設業、陸運業など内需関連銘柄や景気動向に左右されにくい医薬品などを中心に買い戻され、上昇しました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	前回
11月27日	Tue	日本	40年利付国債入札	
		米国	S&P/ケース・シラー住宅価格指数(前月比・季調済)	9月 0.09%
11月28日	Wed	米国	消費者信頼感指数	11月 137.9
		米国	パウエルFRB(米連邦準備理事会)議長の講演	
11月29日	Thu	米国	新築住宅販売件数	10月 553千件
		日本	2年利付国債入札	
11月30日	Fri	国際	G20(20カ国・地域)財務相会議(ブエノスアイレス)	
		日本	失業率	10月 2.3%
		日本	鉱工業生産(前月比)	10月 -0.4%
		米国	シカゴ購買部協会景気指数	11月 58.4
		中国	製造業PMI	11月 50.2
		国際	G20サミット(ブエノスアイレス、12月1日まで)	

決算発表予定 他	海外	決算発表 :	11/27 セールスフォース・ドットコム 11/29 VMware、ヒューレット・パッカー
----------	----	--------	---

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～ 米中首脳会談の結果に大きく左右されるものの、割安感を背景に反発する展開～

今週の日本株市場は、G20サミット前に行われる米中首脳会談の結果に大きく左右されるものの、①依然、バリュエーション面で割安感があること、②ドル円が113円前後の円安水準で推移していること、③10月以降、大幅に売り越した海外投資家によるポジションの巻き戻しが見込めること、④国土強靱化計画に対応した第二次補正予算や消費税対策を十分に盛り込んだ来年度予算が期待されることなどから、反発する展開を予想します。米中首脳会談について、交渉決裂の場合、米国は追加関税の対象品目を拡大することにより米中貿易戦争へ懸念が高まり、市場ではリスク回避の動きが強まる一方、何らかの合意が得られれば株価は大きく反発するとみていますが、先々週末、中国が米国に貿易問題で対処する予定のリストを送付することにより譲歩する姿勢をみせていることを考慮すると、米国が満足する合意が得られるかどうかは不明ながら、交渉が決裂する可能性は低下していると考えます。

その他の注目材料として、日本では30日の失業率や鉱工業生産、米国では27日の消費者信頼感指数、28日のパウエルFRB議長の講演や30日のシカゴ購買部協会景気指数、中国では30日の製造業PMIなどが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.
URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会